



1月トリアだより



1月の活動



月	火	水	木	金	土
1 休み (冬期休暇)	2 休み (冬期休暇)	3 休み (冬期休暇)	4 感触・ルール 	5 運動 認知課題 	6 休み
8 休み (成人の日)	9 屋外・手指 帽子	10 感触・ルール 	11 運動 (早降園日)	12 音楽・絵画 スモック	13 音楽
15 屋外・手指 帽子	16 感触・ルール 	17 運動 認知課題 	18 音楽・絵画 スモック	19 屋外・手指 帽子	20 休み
22 感触・ルール 	23 運動 (早降園日)	24 音楽・誕生会 	25 屋外・手指 帽子	26 感触・ルール (避難訓練)	27 療育発表会
29 運動 認知課題 	30 音楽・絵画 スモック	31 屋外・手指 帽子	※12月29(金)~1月3日(水)まで 冬期休暇とさせていただきます。 ※感触遊びは、「小豆あそび」の為、 スモックは使用しません。		

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本): 4日(木)~6日(土)、24日(水)、25日(木)

言語聴覚士(永山): 10日(水)~12日(金)、15日(月)、16日(火)、19日(金)、20日(土)、29日(月)

理学療法士(樋口): 13日(土)、26日(金)、30日(火)、31日(水)

作業療法士(大平): 9日(火)、18日(木)、26日(金)、31日(水)

「子どもへ“真剣”に伝えましょう！」

子どもたちをたくさん褒めて、すくすく育ててほしいですね。しかし、子どもたちがしてはいけないことをしたときに叱らないといけない場面もあると思います。そのようなときに、子どもたちへつい感情的に伝えてしまったことはありませんか？感情的になると叱る側も嫌な気持ちになってしまいます。今回は、子どもたちを叱るときのヒントをご紹介します。

～叱る技術～

○子どもたちの行動の理由を聞き、一緒にどうすればよかったか考えましょう。

(なんで○○したのかな。友だちはどう思うかな。次はどうしたらいいかな。)

○自分や他の人を傷つける行為などは即座に“真剣”に叱りましょう。

本気(真剣)と感情的は異なります。感情的になると、子どもは否定された感情だけが残ります。

声のトーンを低くしたりゆっくり伝えたりして、落ち着いた態度や口調を意識しましょう。

○自己決定権を大事にしましょう。自分で考えて行動できるようになります。

(命令や禁止ではなく、「・・・してくれるとうれしいな」と希望を伝えたり、選択肢を提示したりしましょう。)



皆さんこんにちは。言語聴覚士の水流理詩(つるさとし)と申します。4月よりこどもサポートセンターあさひが丘で統括主任と言語聴覚士を兼任しており、ご存じない方も多いかと思いますので、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は、令和元年に言語聴覚士の資格を取得した後、東京都にある児童発達支援センター、鹿児島県のリハビリテーション病院で経験を積んできました。お子さんから成人の方まで広く支援・リハビリを行ってきた経験を、今後は落穂会にご縁があった利用者様の言語・コミュニケーションの支援に活かすとともに、私自身も更に学びを深めたいと考えています。

さて、今回のコラムでは「吃音」についてお話をしたいと思います。吃音とは話すときにことばに詰まったり、一部の音を繰り返したり、引き伸ばしたりするために、滑らかな発音、会話が難しくなる状態のことを言います。日本ではおおよそ 10人に 1人に吃音が出現するという比較的身近なことばの問題ですが、吃音という名称やおおまかな状態以外、具体的な対応まではあまり知られていないように思います。

吃音はそのほとんどが2～5歳に出現します。7～8割程度の子どもは自然に治ること、以前は効果的な対応方法が曖昧だったこと、全国でも専門的な相談機関が少ないことなどから、これまでは相談に行っても「様子をみましょう」と言われることが多くありました。ただ、現在では、周囲が話す速度をゆっくりにし、子どもの話を無条件に聞く時間をとるなどの子どもがより楽に話せる関わり方や、反対に子どもへの「ゆっくり話して」などの指示をしたり、話の先取りをしたりするなどの望ましくない関わり方が明らかになっています。有名人では、アメリカのジョー・バイデン大統領や人気ミュージシャンのエド・シーランなどが吃音者として知られ、最近では日本でもジャーナリストや医師など吃音を公表する人が増えたことで、吃音に対するイメージにも変化が見られています。



もし、お子さまの「ちょっと最近ことばにつかえながら話してるな」「ことばの始めの音を繰り返すことが多いな」などの様子に気づいたり、お子さま自身から話し辛さについて訴えが聞かれたりすることがありましたら、ぜひ、落穂会の言語聴覚士にもご相談ください。保護者の皆様と一緒に考え、お子さまのサポートに努めて参りたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

こどもサポートセンターあさひが丘 統括主任・言語聴覚士
水流 理詩

